



「創立150年」

谷保の地に抱かれた歴史と伝統の誇りを胸に、
人づくり 地域づくり 夢づくり
を目指します。

明治6年、「潤沢学舎」としてこの地に誕生した国立第一小学校は、今年で150年目を迎えます。日本の教育の歴史とともに開校した国立第一小学校のあゆみを「手本」として、多くの小学校が生まれ、広がっていきました。また、国立第一小学校で育った多くの人材が地域や社会を築き、支えてきました。

現在、通っている子供たちにも「手本」としての国立第一小学校の精神は受け継がれています。

- ・お手本になりたいという上級生の気持ち
- ・憧れのまなざしで上級生を見上げる下級生の気持ち

これらが重なって、「お手本になりたい」という気持ちが校風といえるようになってきました。

この良き伝統を継続・発展していきながら、150周年を迎える記念すべき今年度、「地域との連携」「ほめて伸ばす」「チーム一小」で協働し、児童・保護者・地域の方・そして教職員のレガシー（世代から世代へ受け継ぐものごと）になるような取組を行っていきます。

これからも、「第一」としての誇りを、教職員・児童・保護者そして地域の方々と「チーム一小」として共有していきます。そして、「人づくり 地域づくり 夢づくり」を「チーム一小」で推進していきます。

令和5年4月3日

国立第一小学校

校長 苫米地 高志